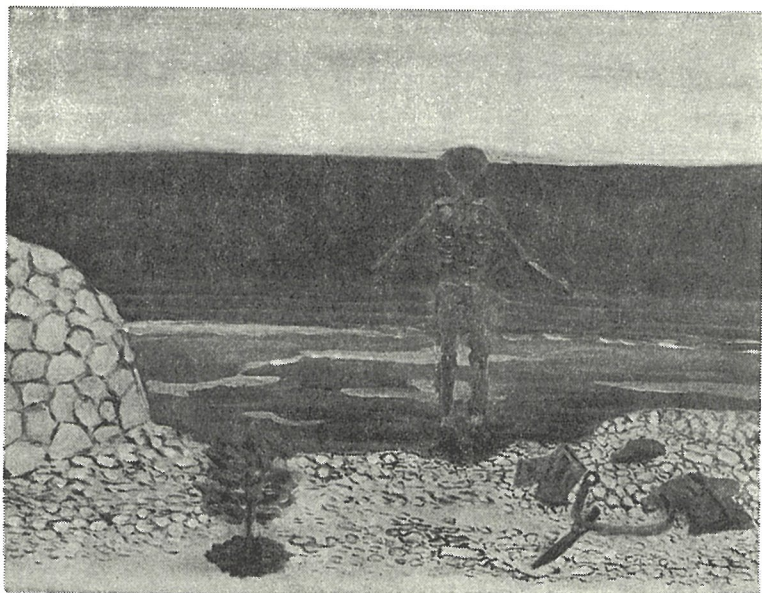




えと文

浦野信夫

WAKE ISLAND

専門が絵筆をとることではなく考えることである私の戦時中の回想の一つです、この小さな珊瑚島は太平洋空路の中継基地といわれていました。日本軍がこれを攻略して以来中部太平洋の第一線となりました。私は昭和一七年頃から終戦のちよつと前迄いました。昭和一八年十月米軍の機動部隊による攻撃以来後方との連絡はたたれ孤立しました。減食が始まり一日茶碗一杯位の食事がつづき栄養失調で死亡するものが続出、その上戦況希望なく、自殺する下士官もでてきました。生活はすべて壕の中で、勤務は殆んどなく、なるべく安静に寝て力を消耗させず敵襲にそなえよ、が命令でした。

私は毎日、海で、太平洋で水浴をしました。もっとも岸の方で、少しでもでるとフカにやられます。その時の風景。私に conversion が与えられたところです。

(高等学校教諭)